



東京浅草中央ロータリークラブ 週報

〒111-8765 東京都台東区西浅草 3-17-1 浅草ビューホテル 2階
TEL. 03-3847-1111 FAX. 03-3847-0154 URL: https://www.asachu-rc.jp



世界に希望を生み出そう

R.I.会長 ゴードン R・マッキナリー

地区ガバナー 栃木 一夫

2023 - 2024 年度テーマ

クラブテーマ 「クラブを心のよりどころに」

クラブ会長 土師 幸士



2023年7月12日

第1743回例会

会長 土師 幸士

幹事 江連 雅孝

本日の例会

クラブ協議会「本年度事業計画」

今後の例会（卓話）予定

7/19 会員卓話「管理運営委員会と私」 長沼一雄会員

7/26 「聞こえない音の世界」

本多電子株式会社 代表取締役社長 本多洋介 様

前回（6/28 1741回例会）の記録

来訪者紹介

- ◆ゲスト 1名 米山記念奨学生 イマン・ファルハナ・ビンティ・ジュアニ 様
- ◆ビジター 6名 東京浅草ロータリークラブ 会長 田原 績 様、幹事 小森谷典明 様、
宮本卯之助 様、富士滋美 様、富井征也 様、坂 真太郎 様

出席報告

総会員数	休会	出席免除	出席	欠席	出席率	修正出席率
43名	0名	4名	39名	4名	90.7%	1740回例会 欠席0名・出席率100%

会長挨拶<土師会長>

・本日の初例会に際し、東京浅草中央ロータリークラブより田原会長・小森谷幹事をはじめ同クラブメンバーの多くの皆様に、また米山奨学生のイマンさんにご来訪頂きました。ようこそのお越しでございます。そして何よりも、休会中であった河村会員が休会扱いを解除して復帰されました。大変嬉しく、心から歓迎致します。河村君お帰りなさい。

今年度の活動方針や内容については、後程卓話での会長就任挨拶で申し上げさせていただきますが、主だった点として、まずは親睦

委員会から出席業務を切り離し、新たに新設致しました管理運営委員会にて同業務を行って頂く事になります。これまでと違う体制となりますので、メンバーの皆様はご承知おき願います。

また、東京浅草ロータリークラブとの更なる交流を目的に、両クラブ相互のメーキャップにつきましては、ビジターフィを一律2,000円に固定させて頂きました。この機会を是非ご活用頂き、同クラブへ訪問されてください。

挨拶としては以上となりますが、これからの1年間、何卒宜しくお願い致します。

幹事報告<江連幹事>

- ①例会終了後に第1回理事・役員会を開催致します。
- ②本年度事業計画書をポストに配布致しました。次週の例会時に必ず持参してください。
- ③次週の例会は事業計画書の発表がごございます。該当者の方は宜しくお願い致します。
- ④上半期年会費納入のお願いをポストに配布致しました。お振り込み宜しくお願い致します。
- ⑤会員名簿を作成するにあたり修正等ご確認をしてください。
- ⑥他クラブの例会変更のお知らせが事務所に届いていますので必要な方はご確認ください。
- ⑦山尾尚司東京浅草中央ロータリークラブOBよりお手紙が届いております。

2023年7月4日

東京浅草中央ロータリークラブ 御中

拝啓 庭の新緑の中に紫陽花が映える時候となりました。会員皆様にはご健勝のこととお慶び申し上げます。クラブ在籍中にご厚誼を賜り厚くお礼申し上げます。伊石前会長、立野前幹事におかれましては一年間、本当にお疲れ様でした。また、満を持しての土師会長、江連幹事ご就任、心よりお祝い申し上げます。本来なら祝賀のため例会に参上する予定でしたが、5月に足首を骨折しリハビリ中です。未だ、暫く時間がかかりそうですが、入院、ギブス、リハビリと人生初めての経験をしております。元気になって、皆様とお目にかかることを楽しみにしております。東京浅草中央ロータリークラブの益々のご発展を遂げられますよう心よりお祈り申し上げます。

敬具

東京浅草中央ロータリークラブOB 山尾尚司

委員会報告

<青少年奉仕委員会 片岡委員長>

- ・来る7月15日(土)14:00より、RAC本年度

初例会を行います。場所は浅草神社/社務所となります。

ニコニコボックス

<東京浅草ロータリークラブ 会長 田原績様、幹事 小森谷典明様>

- ・一年間どうぞ宜しくお願い申し上げます。

<東京浅草ロータリークラブ 坂 真太郎様>

- ・第43回台東薪能のご案内をさせていただきます。皆様のご来場を心よりお待ち申し上げます。

<東京浅草ロータリークラブ 宮本卯之助様>

- ・土師宮司の会長就任を祝して。浅草神社の弥栄を祈念申し上げます。

<東京浅草ロータリークラブ 富士滋美様>

- ・土師宮司、2023年度会長ご就任をお祝いして。浅草神社のご加護の下浅草中央クラブが、益々ご発展なさいます様お祈り致します。

<土師会長、江連幹事>

- ・いよいよ初例会となりました。1年間どうぞよろしくお願い致します。温かい目で見守って下さい。

<古谷、原田、伊石、岩戸、片岡、小林、松丸、宮崎、中村、太田、斎藤、澤野、上野、上原、海内、潮田、渡辺、吉沼>

- ・新年度が始まりました。土師新会長・江連新幹事、一年間よろしくお願ひいたします。

<潮田、斎藤、中村>

- ・本年度、国際奉仕委員会の活動に、絶大なるご協力を宜しくお願い申し上げます。

<松丸、五十嵐、片岡>

- ・青少年奉仕委員会、本年度1年頑張りますので、よろしくお願ひ致します。

<佐藤、伊石、小林、田村>

- ・プログラム委員会、1年間よろしくお願ひ申し上げます。

<浜中、上原、海内、澤野>

- ・1年間よろしくお願ひします。職業奉仕委員会一同。

<社会奉仕委員会一同>

- ・1年間よろしくお願ひ致します。

<中橋、高橋、桜井、関原、松本、五十嵐>
・広報委員会、今年1年間週報をはじめクラブの広報活動を頑張りますので、よろしく
お願いします。

<岩戸、本間、後上、加藤、佐藤、澤野、伊藤>
・SAA一同、本年一年間よろしく
お願いします。

<松丸、園部、太田、片岡、河村、伊藤>
・親睦委員会、本年度1年がんばります。宜

しくお願い致します。

<片岡>
・東北復興支援継続を！

<五十嵐、宮崎、中村>
・100%出席の表彰をして戴きまして誠に有
難うございました。

<佐藤、高橋、吉沼、潮田>
・お誕生日のお祝いをして戴き、有難うござ
いました。

卓 話

会長・幹事 就任挨拶



会長 土 師 幸 士

これから会長就任の挨拶をさせていただきますが、今回は私が奉職する浅草神社から宮本総代・富士総代も見えられており、その目の前でお話するのは言葉が悪いですが少しやりづらいところがございます（笑）。潮田さん、（アテンド頂き）ありがとうございます。

卓話の時間が30分という事で、江連幹事と相談し私が20分受け持って幹事就任挨拶は10分という割り振りにしましたが、卓話の時間が10分遅れて始まりましたので、両者とも同じ10分ずつで進めていきたいと思っておりますので宜しくお願い致します。

改めまして、この度東京浅草中央ロータリークラブの会長を預かりました土師幸士でございます。

生まれ・育ちは山口県で、20才の頃に浅草神社に先代宮司の後継として養子縁組という形で参りました。それまではトヨタ自動車での研究開発の仕事に携わっており、本当に神社の事も、そして浅草という地域の事も含めて、右も左もわからない中で飛び込んだ状況でございました。

そしてそれから5・6年が経ち、自身が26歳の時に今は亡き松崎さん、そして植木さんにお誘い頂き、この東京浅草中央ロータリークラブに入会させて頂きました。

入会当初は26才で、当時40代の上野さんが一番近い先輩でした。ロータリーの理念も全く理解しておらず、正直な印象で、とんでもないところに入ってしまったなと感じたのを今でも覚えております。

20代半ばの若者が、自分より上の様々な年代の方々と一緒に食事をして話しを聞き、また色々と手伝わせて頂く事は大変貴重な経験でもありましたが、少しでも早くその場を離れたいという気持ちも多少なりともありました。

言い訳ではございませんが、当時青年神職の組織でお役を頂いており、都内はじめ全国方々に動き回っておりました。その忙しさにかまかけてしまい、いつも13時過ぎには例会場を後にしたり、委員長のお役目を頂いたにも拘わらず、理事・役員会の機能を考えぬまま、無断で欠席をしたりという事も繰り返していました。ただその中において、特にこの台東区また浅草という地域における人と人の繋がりと、自身が及ばない部分をこのクラブで学ばせても頂きました。

それから23年が経ちましたが、その間に幹事を経て今回会長を仰せつかりましたが、そんな当時の私を暖かく見守って下さいました多くの方に、この場を借りて感謝申し上げますと共に、少しでもその恩返しができると思ひ、この1年間を努めて参りたく存じます。

そして40代半ば頃でしょうか。潮田さんが会長をお務めになる際に、幹事のお声掛けを頂きました。前述の様な私でございましたのでもちろん自信もなく、最初は固辞しておりました。

ただ、潮田さんとはお祭りを含めて様々な面でお付き合いをさせて頂いており、ご本人からも「自分が守るから」という一言を頂き、恐縮ながらその大役を引き受けさせて頂いたところでございます。

そしてここから私のロータリーライフは変わりました。

今までどちらかという後ろ向きに参加していましたが、その当時の潮田会長の背中を見ながら、私がやらなければならない事をしっかりと学ばせて頂き、もったときちんとやらなければならないとつくづく思いながら、ロータリーってこんなに楽しい場所であると肌で感じさせて頂きました。

ただ、幹事としては力及ばず不行き届きの点が多々あり、終わった時にはもっとこうしておけば良かったな、もっと自分から考えて動けば良かったなと何度も反省しました。

今だからこそ言えますが、もし機会があるなら、幹事をもう1度一からやってみたいと考えたぐらいです。

今回は会長という重責をお預かり致しましたので、その恩返しも含めて一生懸命努めさせて頂く所存です。

今年度、クラブ運営を進めていくに当たっては、クラブテーマを「クラブを心のよりどころに」とさせて頂きました。

2～3年に亘ったコロナ禍、この間動きたくても動けない、集まりたくても集まれないと、縮小・制限が課せられる中で、その潮田会長年度から例会自体の休会処置がなされ、その後も年度毎に同じ状況が続きました。

その間にはそれぞれの年度で様々な工夫や配慮があり、その時にできるクラブ運営・例会運営がなされ、それを目の当たりにしてきたところですが、ただやはり仲間同士気楽に集うという点が希薄になってしまった時期でもあったかと思ひます。

まだコロナ禍が明けた訳ではなく、当然安全面には細心の注意を払う必要がありますが、今後のクラブ運営におきましてはコロナ禍以前の様に、また更にそれ以上に、このクラブをメンバーの皆様が親しく集まれる場所として再構築していければと考えているところでございます。

その為には、先ずは例会への出席が大切であり、例会で一人でも多くの方と顔を合わせて話し、そして相互に会員それぞれの性格や職業について改めて知る事から始めていきたいと考えております。

その施策として、今年度は毎月会員卓話を設け、また職場見学も復活させます。そして何より取り組んで参りたいのが、それらを兼ねた「親睦」でございます。これまでは親睦と例会出席確認の業務が一緒になっていましたが、ここでは出席業務を新たな委員会に移し、親睦一本に力を入れて頂く所存です。松丸委員長には親睦活動を一から再構築するつもりでお取り組み頂ければ幸いに存じます。

また、地域社会への貢献や国際情勢の把握も我々ロータリアンにとっては必要な事と考えており、またこれらの活動を広く発信していく必要性も生じています。

その様にするべき事が山積している今だからこそ、そのパートナーとして江連さんに幹事をお願い致しました。

江連さんとは10数年前から一緒に、浅草神社の祭事もそうですし、青少年の教化育成や伝統文化の継承をはじめとする様々な行事にお手伝いを頂いております。一時は三社祭でお神輿の上に乗ってしまい、1年間ほど神社への出入りが禁止となった時期もありましたが、それにも挫けず、私を様々な面で支えてくださいました。

そしてこのクラブにメンバーとして江連さんをお誘いしたご縁も借りて、今回幹事をお願いしたところでございます。

素晴らしいのは、私がパソコンでMacを使っていますが、わざわざ20数万円を掛けて同じMacを新たに購入されており、ご本人の男気を目の当たりにしたところです。

そんな江連幹事と、これからも共に二人三脚でクラブ運営に努めて参る所存です。

クラブには仲間がいて、そして週に一度集える例会という機会があります。

そして会員皆様が心を寄せ合う場所になるよう微力ながらも持てる力を尽くして参りますので、今後とも皆様方のご理解とご協力を切にお願い申し上げます。少しだけ時間が過ぎてしまいましたが、会長就任の挨拶とさせていただきます。

先ずはこれからの1年間、どうぞ宜しくお願い致します。



幹事 江 連 雅 孝

今年度、幹事の大役を仰せつかりました江連雅孝です。
メンバーの皆様、1年間どうぞ宜しいお願い致します。

私は2018年1月に入会させて頂きました。そして1月10日第1523回例会「浅草神社正式参拝」時に入会式をさせて頂きました。会長は田村会員、幹事は浜中会員でした。スポンサーは土師会長、潮田会員でした。

なぜ私を勧誘して頂いたのかはその1年前の三社祭にあったのではないのでしょうか。

東京浅草中央ロータリークラブのメンバーとなり委員会では親睦・出席委員会、S.A.A.、社会奉仕委員会、プログラム委員会、趣味ではゴルフ同好会など充実したクラブライフをさせて頂いております。この5年間のなかでも特にコロナ禍に潮田会長、土師幹事年度に社会奉仕委員長として台東区にマスクを寄贈したことはまさにロータリーの使命である職業人と地域社会のリーダーのネットワークを通じて、人びとに奉仕し、高潔さを奨励し、世界理解、親善、平和を推進することができたと実感できるものでした。

そして今年度幹事になるにあたり、土師会長から「幹事如何でしょうか」と言われたときに入会歴がまだ5年で職業柄、規制される時間が多い自分に果たして幹事の大役が務まるのだろうか？と本当に考えました。家族にも相談しました。土師会長は『私にも出来たので大丈夫です』と言われましたが比較になりませんでした。四字熟語に刻石流水（こくせきりゅうすい）とは、「受けた恩義はどんな小さくても心の石に刻み、施したことは水に流す」ことを言うそうです。人から受けた恩は、その人に返すのみならず、より多くのひとに施すこと。そして自分が施したことは、その瞬間に忘れる事。まさに三社祭を始め常日頃よりお世話になっている土師会長へ心の石に刻んだ恩義を返すときであると思いました。そして引き受けるにあたりパソコン、歯科医師会理事、診療時間の3つを行動致しました。幹事として取り組むクラブ運営としてはコロナ感染症の位置づけが政府の対応の変化によりコロナ禍以前により近くなった事。それにより奉仕活動、親睦活動が可能になった事です。しかしながら依然としてコロナは終息しておらずに第9波の入口にあるとも言われております。これからはよりクラブとしての責任が大きくなると思われその時の対応にも気をつけて行きたいとおもいます。

今年度は例会数が増加致します。それに伴う食事について内容またフードロスの観点から委員会の方にもご迷惑をおかけするかと思いますが宜しくお願い致します。またモーニング例会という新しい事にもチャレンジして参ります。青少年、社会奉仕事業として初の稲作事業を行います。日台親善ロータリー会議またオープン例会、フラフェス、東京浅草中央RC Cupの開催もごぞいます。5クラブ合同例会ホストクラブでもごぞいます。メンバー皆様ひとりひとりの御理解、御協力なしでは成功出来ませんのでメンバー一丸となって参りたいと思いますので宜しくお願い致します。

最期に土師会長が示された「クラブを心のよりどころに」のお言葉のように、浅草中央ロータリークラブが、皆様を支える存在、かつ、錨を下ろすことの出来る場所になり得ますよう、私自身の役目を精一杯果たしていく所存でございます。ロータリーについて全ては理解してはいない若輩者の私故に、1年間、皆様方に多々御迷惑をおかけ致しますが何卒御理解、御協力を切にお願い致しまして幹事就任の挨拶とさせて頂きます。